



題字は松井岳洋筆

雑感

逗子地区長 菊池 岳悠



30代半ばでご縁があつて碩心会にいらして頂き、その後10年程して詩舞にもお誘いを受けて、40年を越えようとしております。

今振り返ってみると、パート勤務の傍ら両方の教室に通い忙しい事も多々ありましたが、今まで自分としてもよく続けて来られたものと思っております。

詩吟や詩舞と言うものに何か新鮮さを感じ、時に感動し、時に緊張し、諸先生方の良きご指導やお仲間達との楽しいお付き合いがありここ迄来られたものと思います。

毎年秋に行われる逗子地区担当の「吟詠と詩舞の集い」。昨年は3回目でしたが、前号の「碩心」にも載っておりますように、逗子地区の会員のみならず、碩心会全員の方々の結実力やご協力があつて無事に成功できた事にとっても感

謝しております。

昨年引退された恩師村田岳瀨先生の後を森岳靚さんと共に引き継いで指導者という立場になりました。まだまだ未熟者で勉強も足りておりませんが、先輩諸先生方のご指導ご鞭撻を戴き、教室の皆さんに支えて頂きながら、吟力の向上とともに健康で続けて行かれたら良いかなと思っております。

新元号も「令和」となり、心新たに新年度の行事もいろいろと始まって参りました。

これからも皆さま方と和(輪)を持って活動に参加して行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



No. 448
令和元年5月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 有友岳濤

編集者 森 祐風

神奈川県三浦郡葉山町堀内 2021

Tel/Fax.046-875-0507

URL <http://sekishin.holy.jp>

行事予定

神静地区師範吟詠大会

日時 5月25日(土) 開会10時

場所 小田原市民会館

第28回神奈川県風連合会青少年吟詠大会

日時 6月9日(日) 開会10時

場所 金沢公会堂

碩心会温習会

日時 6月21日(金) 開会10時

場所 葉山町福祉文化会館

岳風忌

日時 7月1日(月) 開会10時

場所 諏訪地藏寺

第7回全国俳諧歌吟詠大会

日時 7月2日(火) 9時30分

場所 諏訪市文化センター

夏季吟道大学講座

日時 7月20日(土) 開会10時

7月21日(日) 開会9時30分

場所 メルパルクホール東京

第7回全国青年吟道大会

日時 8月3日(土) 開会11時

場所 小岩アーバンプラザ

碩心会夏季吟道講座

日時 8月22日(木)

場所 葉山町福祉文化会館

碩心会秋季審査会

日時 9月14日(土)

場所 葉山町福祉文化会館

昇伝段位認許

(平成31年2月16日付)		
師範(2名) 8 鈴木岳賢		
(平成31年4月1日付)		
初段(8名)		
180 畑山聖一	177 原口春幸	178 有友光代
185 鈴木澄子	181 今野孝博	184 鈴木洋帆
186 花村好郎	187 牧野桂子	
二段(4名)		
172 久世健一郎	170 明河正一	171 大内清美
初伝(5名)		
167 片山令泉	165 石川昌泉	166 吉見流泉
168 岩本清泉	169 鈴木志泉	
三段(9名)		
155 村上日泉	153 井上君泉	154 大門鋼泉
156 宇治田光泉	157 林 浩泉	
160 川添弘泉	161 吉田楽泉	
四段(9名)		
145 吉田昌泉	143 守屋允泉	144 池田和泉
146 鍋田敏泉	147 福原時泉	
148 桑原昭泉	149 鈴木崇泉	150 安西信泉
151 野津英泉		
中伝(4名)		
135 山藤葉山	136 平泉廣山	134 増田悦山
133 吉村健山		
五段(3名)		
128 清水翠山	126 作山光山	127 小林文山
六段(4名)		
124 三並蒼山	121 片桐泰山	122 山川蒼山
125 岩田文山		

奥伝(5名)		
114 山田眞風	115 伊藤茜風	116 寺山紀風
七段(5名)		
106 加藤典風	107 吉田桜風	109 清水純風
108 中山辰風	109 永田静風	
八段(6名)		
97 村田一風	98 加藤茗風	99 村上遥風
100 古敷谷江風		
112 本多菊風	113 新井洋風	

碩心会春季審査会
葉山町福祉文化会館 (3月16日(土))

平成最後の審査会が受審者74名、多数の応援者の参加のもと開催された。
昨年4月1日の認許日より施行された「履修期間」の短縮により、奥伝以上の受審者が多くなっている。高段者にとつて履修期間が短くなったことによるメリット・デメリットがあつたようである。「高齢のため、上の段伝位をとれないと思つていたが、期間の短縮により、審査に望むべく奮起した」との感想が聞かれた。一方、「短くなったために十分な練習が出来なかつた」と。今回初めて審査を受けた方は、8名と例年より多くなつている。マイクの扱いについて、「上げ下ろしはどうしたらよいか?」「自分で本番に出来るかしら?」等、緊張した面持ちで担当者に聞く場面も見られた。審査員6名の先生方の講評は段伝位ごとに行われた。今後の参考にジャンル別にまとめて記載する。

☆基本的なことについて

正しい発声については、口を大きく開け、はっきりと。音位の基本をしっかりと。呼吸の仕方は腹式呼吸で。姿勢は、頭が上からつられていような感じで立つと良い。詩の表現として緩急強弱をどのようにつけると良いか工夫を。入退場の態度。単語を短く、余韻で伸ばすこと。素読をしっかりとすること。

☆和歌について

中伝から和歌が入ってくるが、序詠・本詠の区別をしっかりと。言葉のはこびや間の取り方が大切。

☆俳句について

陽旋律、切れのよきを出す。かたくなりやすいので「かろみ」を出すためにどうするか?例として自分でテープに入れて聞いてみると良い。

☆近代詩について

感情表現をどうするか。リズムカルに詠じないと訴える力に欠ける。気魄雄魂を持つて吟じないと人の心に響かない。

☆その他

教本を見て吟じる場合、課題数が多い時は1題でも教本を見ないで吟じる努力を。見て吟じる場合、紙を持つ手はやや上に向ける。上手な人の吟を聞いたりまねたりしてみる。吟じる時、目はつぶらないこと。韻読は碩心会の宝であるので、大事に引き継いでいってほしい。

以上の講評を次期審査会に役立てて下さい。
(小菅岳偉)

令和元年度 碩心会総会

日時 4月27日(土) 午前10時~12時
場所 逗子市民交流センター
出席者44名 委任状4名 出席率96%

碩心会詩の合吟後、有友会長の挨拶。書記は森祐風・加藤岳美。議事録署名人は高見岳湘・山本岳新。

開会后 議案1~6について意見交換がなされた。

質疑応答・要望等

- 議案2の総本部費収入の特別会員の扱いを検討してほしい。(30年度は本部費の収入には入っていないが、会員数との整合性から、記載してはどうか)
- 審査課題テキストの件▽作成・販売は教務部に統一した方がよいのではないか。
- 議案2の審査業務部の記載方法の工夫をしてほしい(受審料・許証料の整合性がわかるように)
- 現在指導者が何人いるか。還元金の意味。追試の規定について質問あり。
- 行事の開催曜日を土・日に限定しなくてもよいのではないかと質問あり。会長から青少年の出席を考え、原則土・日としたいとの意向が示された。
- 審査会時80歳以上は紙を見て吟じるのを基本としてはどうかとの意見あり。会長から70歳以上は見ても良いことになっているので、あえて規定しなくても良いのではないかと解答あり。

有友会長より退任・新任の報告あり

総務部▽新任・畠中潤風。退任・大塚翔岳
教務部▽新任・村上遙風。退任・大坪岳久
葉山地区▽新任・矢島岳綾。退任・田中友泉
監事▽退任・高橋岳之
参与▽退任・村田岳瀨
以上、意見交換の後11時50分に閉会した。

第6回 尚歯会全国吟道大会

副会長 行谷岳隆

3月22日(金) 好天に恵まれ朝から暖かな一日。当大会は日本教育会館一ツ橋ホールにて開催。碩心会からの参加者は5名。大山岳荘大会会長の御製謹詠「歌」の後、会員吟詠開始。

私の尚歯会参加は3回目。今回の独吟は緊張でしたが練習の成果で間違わずに吟じることができ一安心。神静地区として出場した合吟は、男女共、よくそろっており好吟であった。

全体の感想として、各地区大会及び全国大会のコンクールを意識しての出吟が独吟・合吟を含めて7組ほどあり、出来ばえ良好。さすがだ。

90歳以上の独吟者は、しっかりと足取りで声高らかに吟じて流石に兵どもだった。驚いた。

出吟者(556名)の内、(382名)が岳号で実に約70%になる。この実態から尚歯会の参加者は熟達者で経験豊富な指導者がかなり多い。

碩心会員の平均年齢は75歳と聞いている。という事は全国的な平均年齢もおおよそ70代とみて間違いないと思う。

尚歯会は、任意で各地域で行っていたものを本部でまとめた大会だという。これからは2年毎に実施となった。「生涯青春」をモットーに元気で長生きできる願いが込められている大事な大会だ。尚歯会のスローガン。「人生に定年なし。苦難を乗り越え、歴史を刻み、幾星霜を重ねたあなたは学院の誇りであり 日本の宝です。」

『第2回全国特別維持会員吟道大会』に参加して

漣朗支部 磯村岳朋

今年の初めに『第2回全国特別維持会員吟道大会』に会長の有友岳瀨先生が出吟するということが参加の返事をして、楽しみにして居りました。ところが大会1週間前に会長の緊急入院と聞き驚きと、心配が昨年の高橋岳之副会長の事とダブリました。

去年は、高橋さんの付き添いで、「第1回全国特別維持会員吟道大会」に参加、あの日も、不安な思いで行き添いましたが、帰りの高橋さんは、ふら付き転びながらも満足そうでしたが、具合の悪さは、お喋りしていても伝わってききました。そんなことが、ありありと思ひ出されました。大会前日に、会長が退院したと聞き、当日の元氣そうな笑顔を見て、漸く安心しました。

大会も順調に進んで、会長の出番。格好よくインディに登場。吟題、作者名、そして吟詠と迫力は少し失せましたが、立派に吟を終え、上手(かみて)に2、3歩歩いた時、会長の口が「あ。」と動いたのを見て碩心会の座席がざわつききました。

大会も無事終わり、いつもと変わらない有友会
長と碩心会員8名で、談笑しながら帰路に着きま
した。

つくづく健康の大切さを、感じました。元気で、
明るく、楽しく。命を戴いた私の目標として、思
う今日この頃です。

相州岳風連合吟道講座

3月3日 横須賀ウエルシティ

市民ホールにぎつしり並べられた机、相州連合
4団体の席が列ごとに決められて、熱気に溢れて
いた。

「今まで多くの講座が行われたが、長時間の会は
大変と言う声があり、今日は『審査課題に合った
もの』『珍しい吟』に的を絞って半日の講座を計画
した」という会長からの話があった。

第一講は、総本部理事 内山岳青先生による「嗽
吟」の講義。嗽吟は個人的にも次の審査会の
課題吟でもありしつかり学びたいと思ってい
た。韻読の雰囲気をつかむ上で、素読のとき
に気を付けること、1行の上段は漢字を4文
字・3文字、下段は2文字・2文字・3文字
に分けて読むこと、字句に短い韻(節)
をつけて、それによって感情を表現させるよ
うに努めるのが韻読であり、韻読調で吟じれ
ば暗唱しやすいことを学んだ。

第二講は、神奈川高相岳風会会長 加藤岳
光先生による「新年雪裏の梅花に賦す」有智
子内親王と「三月三日重ねて虎邱に遊ぶ」郭

会員のうごき

* 入会 (4月1日付け)

- 191 鈴木エミ子 (眞名瀬)
葉山町堀内 紹介者 牧野桂子
- 192 菅田克美 (国際村)
湘南国際村 紹介者 小泉岳貴

* 退会者

- 26 一之瀬保江 (紫陽花)
- 183 高梨由美子 (紫陽花)
- 20 鈴木初江 (やよい)
- 174 重田すず (眞名瀬)
- 33 角田久江 (一色)
- 47 轟あき子 (紫陽花)
- 66 今井俊夫 (滝の坂)
- 37 沼田東治 (滝の坂)

* 住所変更 6 上村岳章

葉山町上山口 → 葉山町堀内

祝卒業

菊池岳世正師範「吟道修学院」卒業

麟孫であった。加藤先生は、詞の大切さを繰り返し述べられた。符のない詞を自分がどう理解して吟ずるか、符はあくまでも目印で、作った人の気持ちになつて符付に心を入れるのは自分。個性を忘れないことが大事であると繰り返し返された。これからの吟への宿題を出された講習会であった。碩心会から27名の参加があった。(森 晶風)

平成31年3月23日(土)吟道会館「岳風講堂」において吟道修学院2期院生の卒業證書授与式が総本部役員はじめ列席者のもと厳かに執り行われた。全国から厳選された32名の院生の中には7名の神静地区出身者も見受けられた。年間48時間の熾烈な課程をクリアし、当日の卒業記念発表には、我が碩心会の菊池岳世正師範が、代表2名による吟の発表の一人として有終の美を飾った。

編集後記

総会が終わって4日後、「令和」がスタートした。新元号の典拠は万葉集の815番歌の序文の「節、「初春の令月にして、氣淑(よく)風和らぐ」にあるという。大伴旅人等は梅の花と題して32首を詠んでいる。万葉の歌人に倣って、「和歌」の吟力の向上と磨きに力を入れてみよう。

令和元年5月現在会員数

- 逗子地区 100名
- 葉山地区 83名
- 合計 183名

平成31年「初吟会」収支決算報告

科目	決算額(円)	備考
前期繰越	22,557	
参加費	417,000	139名×3,000円
祝い金	7,000	新総伝者7名×1,000円
来賓参加費	18,000	来賓者6名×3,000円
合計	464,557	
式典	10,300	・大会議室
新年会	37,450	・ホール(8,100円)・設備(29,350円)
飲食代	247,950	・お弁当(1,710円×145個)
	35,040	・紅白饅頭(2,400円×146個)
	18,306	・みかん・柿の種
	41,090	・清酒8本・900ミリ4パック・焼酎3本・コーラ
	10,126	・お菓子・耐熱カップ・コーヒー・事前キャンセル
傷害保険料	5,720	東京海上日動火災保険
事務通信費	4,670	コピー、文具
会議費	2,910	事務詳細引継ぎ
運搬費	1,000	荷物運搬
交通費	13,000	会場予約・打合せ・商品発注等
接待費	23,970	来賓接待
ランチョンマット	5,000	
次期繰越	8,025	
合計	464,557	

飾った。
1期生同様、詩吟学院公開講座の講師等の活躍が期待されます。と同時に修学院で習得した奥義の数々を碩心会でご指導ください。(森 祐風)